

## 資料③

自治体名	宣言・策定日	文言
海津市	R2. 9. 4	<p>わたしたちは、先人が汗と知恵で築いてきた歴史と文化や、木曾三川の清流と養老山地の緑豊かな自然の中で、平和に日々の生活を送っています。</p> <p>しかし、世界の各地では、今も戦争や紛争が絶えず、核兵器の廃絶は実現されていません。</p> <p>我が国は、世界で唯一戦争により原子爆弾が投下された国として、非核三原則を堅持し、二度と同じ惨禍を繰り返すことのないよう、命の尊さと平和の大切さを強く訴えていかなければなりません。</p> <p>そのため、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念に基づき、全世界から核兵器をなくし、わたしたちが安心して暮らせる社会になることを願い、そして行動することを誓い、ここに「非核平和都市」を宣言します。</p>
山県市	H30. 9. 20	<p>世界の恒久平和を実現することは、人類共通の願いであり、私たちが目指す「水と緑を大切に、活力ある山県市」の実現にも必要不可欠です。</p> <p>しかしながら、依然として世界各地では紛争が絶えず、核兵器の存在により、人類は脅威にさらされています。</p> <p>私たちは、世界唯一の被爆国である日本国民として、核兵器のない平和な世界を、また、山県市民としては、この美しいまち「ふるさと山県」を、次代を担う若い世代へ引き継いでいかなければなりません。</p> <p>そこで、市民一人ひとりの平和への願いをこめ、ここに「非核平和都市」を宣言します。</p>
高山市	H29. 3. 24	<p>高山市は、飛騨山脈に代表される豊かな自然に囲まれ、祭りや匠の技などの伝統文化を育み、「国際観光都市」として、周りとのつながりを大切にしてきました。</p> <p>さらに、国際平和デーを「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています。</p> <p>しかし、世界の各地では、紛争・テロ・飢餓が後を絶たず、核兵器の脅威にさらされている現実があります。</p> <p>私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。</p> <p>私たちは過去から学び、未来へ伝えていきます。</p> <p>戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。</p> <p>私たちは守り続けます。</p> <p>豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆を。</p> <p>私たちは大切にします。</p> <p>多様な文化を理解し、尊重することを。</p> <p>私たち高山市民は、ここに高山市が永久に平和都市であることを宣言します。</p>
本巣市	H24. 5. 1	<p>核兵器は、争いを増長し社会や自然を破壊することしかない、強大な暴力の象徴であることは誰もが知る事実です。</p> <p>世界で唯一の被爆国である我が国は、平成23年3月の東日本大震災による原子力発電所の事故により、再び核による放射能汚染の脅威にさらされ、その恐ろしさを再認識することとなりました。私たちは、自然に対するつつましさを忘れてはならず、科学技術への過信を戒めなければなりません。</p> <p>核兵器の恐怖におびやかされることなく、豊かな自然や歴史ある我がまちの貴重な財産を愛しみ、次代へ継承していきたいという願いは市民の総意です。</p> <p>核兵器の廃絶と恒久平和を強く願い、世界に訴えるため、本巣市は「非核平和都市」であることをここに宣言します。</p>
北方町	H23. 9. 8	<p>東に金華山、西に池田山を望み濃尾平野の中にあるわが町は、長い歴史と先人たちの努力によって近代都市として発展してきました。</p> <p>こうした発展の陰に先の大戦における、広島・長崎をはじめとした多くの犠牲があったことを忘れてはなりません。私たちは、今日までその犠牲の上に「平和の享受者」として留まってきました。</p> <p>しかし、今なお、国際社会では武力紛争が絶えず、多くの国が核を保有している現状は、恒久平和を求める町民の願いとは程遠いものであります。</p> <p>これから私たちは、「平和の創造者」となるべくここに日本国憲法の理念のもと、非核三原則を遵守し命の大切さを心に刻み「殺すな。殺させるな」を世界に呼びかけて、すべての核廃絶と平和に向けて努力することを決意し、ここに非核平和都市を宣言します。</p>
瑞穂市	H22. 11. 30	<p>世界恒久平和は、人類共通の願いです。しかしながら、現に核兵器が存在し、人類の生存に大きな脅威を与えています。私たち瑞穂市民は、被爆後65年にあたる今年、改めて平和への声をあげ、日本国憲法の理念に基づきすべての核兵器の廃絶と軍備の縮小を全世界に訴えるとともに、「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を遵守することを希求し、市民の平和と幸福を願い、ここに「非核・平和都市」を宣言します。</p>

## 資料③

自治体名	宣言・策定日	文言
下呂市	H17. 6. 24	世界の恒久平和は、人類の共通の願いである。しかし、現在この地球上には数多くの核兵器が存在し、また、紛争・戦争も後を絶たず、人類の生存に脅威と不安をあたえている。私たちは、日本国憲法の理念のもと、国是である非核三原則を遵守し、世界で初めての核爆弾による被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を世界の人々に訴え、この地球上に再び広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならない。私たち下呂市民は、美しい自然を守り後世に残していくため、あらゆる国の人々の相互理解と協調による核兵器のない平和な世界の実現に向けて努力することを決意し、ここに非核平和都市を宣言する。
羽島市	H9. 1. 24	豊かな水と緑に恵まれた我が羽島市は、市民一体となって「活力に満ちた、安全で住みよい街づくり」を目指しています。 私たちは、日本の将来を託す子どもたちや次代を担う青年たちのためにも、平和な世界をつくり、育む責任があります。 よって、私たち羽島市民は、すべての核兵器と戦争を廃絶することを強く訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市」を宣言する。
笠松町	H7. 12. 22	清流木曾川に代表される美しいふるさとをもつわたしたち。自由と平和をとらうと、活力に満ちた住みよい笠松町の形成を目指すわたしたちは、地球環境と生態系の破壊をもたらす核兵器の脅威が今もなお続いていることを深く憂慮するものである。 笠松町議会は、被爆五十周年にあたり、すべての核兵器と戦争をなくすことを訴え、世界の人々と共に真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「非核平和都市」を宣言する。
川辺町	H7. 9. 26	飛騨川の水面に影映す緑の樹木と紺碧の空。縫うが如くすべるが如く若者の舟が行く。 川辺のダム湖は日本有数のボートのメッカ。ここに集う若者に核兵器はいらない。 私たち川辺町民は、かけがえのないこの町で、平和に暮らすことをのぞみます。 そのために平和憲法を守り、非核三原則を厳守し、核兵器全面禁止と廃絶を求めて行動します。 広島・長崎の悲劇を繰り返さないために。被爆五十周年を期しここに「非核平和都市」を宣言する。
関市	H6. 3. 25	豊かな水と緑の恵みを受け、清流長良川の流れるように、ひらけゆく未来をもつ関市をまもり発展させることはわたしたちの願いである。わたしたちすべての市民は、全人類の願いである核兵器の廃絶と戦争をなくすことを訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市」を宣言する。
各務原市	H2. 9. 25	清流木曾川と緑豊かな山地に恵まれた我がふるさと各務原市は、全国各都市に先駆け、過ぐる大戦における悲惨な空襲体験を思い起こし、六月二十二日を「平和の日」と定め、自由と平和をとらうと風土をはぐくみ、活力に満ちた住みよい街づくりを目指しています。 この美しい自然を愛し、自由と平和を求める心は、私たちのみならず、人類共通の願いであります。 よって、私たちは、すべての核兵器と戦争をなくすことを訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市宣言」を宣言します。

自治体名	宣言・策定日	文言
美濃加茂市	H1. 3. 25	<p>平和を希求する都市          私たちすべての市民は、全人類共通の願いである核兵器廃絶が一日も早く実現され、戦争のない恒久平和が達成されることを心から希求する。          この願いを込めて、世界のすべての人々との交流をすすめて、相互理解を深め、世界の平和を訴えるものである。</p>
岐阜市	S63. 7. 1	<p>緑豊かな金華山と清流長良川に代表されるわたしたちのふるさととは、自由と平和をとようとぶ風土をはぐくみ、活力に満ちた住みよいまちづくりを目指しています。          この美しい自然を愛し、自由と平和を求める心はわたしたちのみならず、人類共通の願いであります。          わたしたちの岐阜市は、世界の各都市と友好・姉妹都市提携を進め、相互の信頼を深めつつ平和への道を歩んでいます。          市制施行百年を迎えるに当たり、すべての核兵器と戦争をなくすことを訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市」を宣言します。</p>
中津川市	S62. 3. 24	<p>現在、世界は米・ソをはじめイスラエル、パキスタンにいたるまで核保有国の果てしない核軍拡競争が繰り返され、核戦争の危機がかつてなく高まっている。          日本国民は、世界唯一の被爆国民として、また日本国憲法の本質である「平和に生きる権利」からも再び「ヒロシマ・ナガサキ」の惨禍を絶対に繰り返ささせてはならないことを願い世界に核兵器廃絶運動を続けてきた。          我々はその悲願を達成するために、中津川市が地域住民の生命の安全と福祉を保持する立場から「核兵器廃絶都市」宣言を行うものである。</p>
和光市 (埼玉県)	R5. 5. 31	<p>私たちは、みんなで手をつなぎ、世界に向かって笑顔と「わ」を伝え、平和なまちを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 私たちは、お互いを尊重し、小さな声を大切にします。</li> <li>1 私たちは、周りの人との交流を大切にします。</li> <li>1 私たちは、二度と戦争をしないことを伝えます。</li> <li>1 私たちは、1日1日を大切にします。</li> <li>1 私たちは、常に感謝の気持ちを忘れません。</li> </ul> <p>私たち和光市民は、平和の大切さを発信するため、ここに、平和都市を宣言します。</p> <p>※和光や平和の「和」、みんなでつなぐ「輪」など、複数の意味を持つことからひらがなの「わ」を使用しています。</p>
飯能市 (埼玉県)	H31. 3. 16	<p>世界の恒久平和は、人類共通の願いです。          戦争や核兵器の使用を許さず、また、人々の穏やかな日常を脅かす差別や貧困、環境破壊などをなくすため、世界の国や地域が共に手を携え、平和への歩を進めていかなければなりません。          本市は、戦争の悲惨さと核兵器の恐ろしさを決して忘れません。          そして、豊かな自然や文化、人々の優しさや思いやりの心を次世代に引き継ぎながら、誰もが笑顔にあふれ幸せに暮らせる社会の実現を目指します。          ここに、明るい未来を展望し、世界の恒久平和に貢献することを誓い、「平和都市」を宣言します。</p>